

特別企画展

新章 **ジャパニビューティ** 関連シンポジウム

栗原玉葉をめぐる物語

くりはら

ぎよくよう

2019 **1/13** 日

時間 14:00~18:00

会場 長崎歴史文化博物館
1階ホール

聴講無料

先着順

※入場には新章ジャパニビューティ展のチケットが必要です

講師

菊屋吉生氏 (山口大学国際総合科学部)

野地耕一郎氏 (泉屋博古館分館)

塩谷純氏 (東京文化財研究所)

伊藤たまき氏 (斉藤清美術館)

田所泰氏 (東京文化財研究所)

五味俊晶 (長崎歴史文化博物館)



長崎歴史文化博物館の特別企画展「新章 ジャパニビューティ」開催を記念し、栗原玉葉に関する特別シンポジウムを行います。

明治16年(1883)、長崎県南高来郡山田村に生まれた栗原玉葉は、23歳の時に上京し、女子美術学校などで絵の勉強を始めました。大正2年(1913)、第7回文部省美術展覧会に《さすらひ》を出品し初入選を果たすと、その後も大きな展覧会への入選を何度も果たし、女流画壇の第一人者として名を成していきました。

大正11年(1922) 9月8日に39歳という若さで逝去してしまったため、彼女の画業は現在では振り返られることがほとんどありません。しかし当時は「東の玉葉、西の松園」と称され、上村松園に匹敵するほどの人気を博していました。本シンポジウムでは栗原玉葉の画業だけではなく、同時代性なども加味したうえで、様々な側面から玉葉について考えていきます。

プログラム

14:00 概要説明

14:05 講演 栗原玉葉と女性画家
----- 田所泰氏

15:05 講演 美人画をめぐる言葉
-「美人画」に見たもの、求めたもの
----- 伊藤たまき氏

(休憩)

16:30 座談会 ----- 菊屋吉生氏 野地耕一郎氏
塩谷純氏 伊藤たまき氏
田所泰氏 五味俊晶

主催：長崎歴史文化博物館 特別協賛：大和ハウス工業株式会社長崎支店